

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report 10

2014 No.721

## 3 はじめの言葉

### 4 人材育成を放棄し

成果主義に走る企業の未来

田原文夫

クラウゼビッツは「戦争は政治の一形態である」と言った。ひとつの政治手法を奪い、代わりになるものもなく真っ当な政治をしろというのは根本的な誤りである。それは情報システム部から、システム構成要素のハードウェア/ソフトウェアの選択権を取り上げ、効果的なシステム構築そして運営をしろと言うに似ている。しかし、政治現場でもシステム現場でも、こういう無理がまかり通っている。

## 10 情報社会を考える その49

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

### 御嶽山の噴火

あっという間に秋らしくなった。今年春先の長期天気予報では「エルニーニョが発生するので、冷夏になるだろう」と言われたが、7月の猛暑にだまされ、「やはり気象庁情報はウソだったか」と、一時思われたが、果たして8月の気候をみると、結局、長雨による冷夏であり、気象庁の天気予報は当たった。と、これに期待する勢いで、今回の木曾の御嶽山の火山活動予測/予知は何とかならなかったのかと、勝手に残念に思っている次第。

## 12 日本再生/世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その44

水田 浩

### オープンガバメント OG 10 工業化社会をデジタル化する

社会全体が工業社会から情報社会に移る第一段階ではICT(情報通信技術)が個々の組織の効率化のために、それぞれが独立して導入され、第二段階では工業社会の組織はそのままにして組織間をICTで統合してゆく。社会全体を情報社会に変える準備段階である。第一段階での最初のデジタル化運動が1994年から世界規模で行われたCALS運動であった。そして次に行われたのが電子政府運動であった。

## 18 連載 アーキテクチャ論 (42)

NFR手法によるアーキテクチャ評価

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

Subramanianらは、Non Functional Requirement (NFR)手法をシナリオ分析と組み合わせることによってCyberphysical systems (CPS)アーキテクチャの安全性とセキュリテ

ィを評価する手法を提案している[1]。本稿では、まずNFRフレームワークの概要を説明する。次いでCPSの例として、LAN機器監視システムに適用した結果について説明する。

## 2 8 IT 新時代とパラダイム・シフト

### 第59回 セレブの画像流出は氷山の一角

根本忠明

セレブと呼ばれる女優・モデル・歌手達のヌード画像を、外部に流出させる事件が、注目を集めている。事件の特徴は、盗撮された画像ではなく、本人が自分撮り（以下、自撮り）した写真が、外部流出している点にある。背後には、2013年に世界的ブームになった自撮り（セルフィー）がある。

問題なのは、このセルフィーの中でも特に、性的な画像を友人や恋人などに送信したり共有するセク스팅（Sexting）である。日本も含め海外でも一般人の間で日常化していることが表面化しており、これが危惧される。セレブのヌード画像流出は、氷山の一角に過ぎない。今回は、この問題について紹介する。

## 3 0 続インテリジェンスへのいざない 57

### 誤報道と歴史認識問題

#### そして気になる「イスラム国」

今井 武

朝日新聞の誤報道が近隣諸国との間の歴史認識問題で再燃している。そんな最中、中東においては、国境を持たない「イスラム国」の展開が世界中を震撼させている。とにかくも、このイスラム国についてほとんど知らないのが日本／日本人である。どう向き合うべきか。

## 3 3 一味違うウェブ検索

### 第四十八話 デング熱を最初に疑ったのは

#### 医者ではなく感染者の母親だった（1） ぐうのうえぶへい

8月末から1ヶ月、突然のデング熱感染が世間を騒がした。今回の報道は、国民が知るべき事実を、ほとんど伝えていない。マスコミの多くは、裏づけ調査もせずに、大本営発表そのまま、役所の発表を無批判で報道してきた。今回、デング熱の最初の発見者は、病院の医師ではなく患者の母親だった。国内感染は、実は1年前に山梨県で発生していたが、何の調査・対策もとられなかった。デング熱を含め熱帯性感染症は、隣国の韓国や台湾にまで北上し、大問題になっている。何の対策もしていないのは、日本だけといってよい。地球温暖化が原因とされるのに、日本は、アジア諸国とは違う「安全な国」だと言うのだろうか。マスコミ報道とは裏腹に、ウェブ上には、デング熱などの感染症の情報は、溢れている。何年も前から、専門医師などから様々な警告が発せられている。今回と次回に分けて、この事件の全体像を捕らえるための情報検索法について、説明する。

## 3 5 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300)  
A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリニティ 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2013年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの得広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300)  
A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300)  
A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開港手続の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO, IBM戦争	第十五章 開港手続とハンタツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働時の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働時の二 安定期間と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)